

新日本保険新聞（生保版・損保版）

紙面・メルマガ広告出稿のご案内

【新日本保険新聞とは～主な購読層】

新日本保険新聞（生保版、損保版）は、昭和22年創業の株式会社新日本保険新聞社が発行する老舗の保険業界向けの業界専門新聞です。生保版は主に、生命保険業界の多くの保険会社社員や営業職員、セールスパerson、保険代理店、保険関連事業者などが読者です。損保版は主に、損害保険業界の多くの保険会社社員や保険代理店、保険関連事業者などが読者です。

【紙面の特徴】

紙面の内容の特徴は、生保版、損保版ともに、営業現場の役に立つような営業支援に関する情報を中心に多く記載していることです。保険代理店や営業職員、セールスパerson、保険会社の支店課支社の社員に対してや、保険代理店が顧客に持つ中小企業などに対して、貴社のサービスなどをPRする媒体としてぜひ、ご活用ください。また、新聞の貴社広告掲載面を二次利用するなどして、その後の販促ツールとして活用いただくこともできます。



【新聞広告(生保版、損保版)について】

発行日：毎週月曜日（4回発行、第5週目の月曜日は休刊）

サイズ・ページ数：タブロイド版 10ページ（生保版）、8ページ（損保版）

○記事形式の広告(掲載スペース:紙面1ページが10段で換算、以下は一例)

(当社記者が取材・記事作成)

- ・全3段 110,000円(税込み)
- ・全5段 154,000円(同)
- ・全7段 187,000円(同)
- ・全10段 220,000円(同)

○一般広告出稿料金

(完全データ(画像(tiff、JPEG)またはPDFにて入稿。データは広告依頼者が準備)

- ・全2段(70mm×240mm) 110,000円(税込み)
- ・全3段(105mm×240mm) 132,000円(同)
- ・全5段(177mm×240mm) 220,000円(同)

【メールマガジン広告について】

発行周期：月約5回、不定期

読者：約10,000通（保険代理店店主、募集人、営業職員、セールスパーソン、保険会社社員、保険関連事業者など）

○ヘッダ6行広告

（全角30文字×6行以内の広告をヘッダ枠で掲載）：41,800円（税込み）/1回（1通当たり約4.2円程度）

○単独(号外)PR広告

（全角30文字×130行以内でPR文を掲載（タイトル全角20文字まで））：187,000円（税込み）/1回（1通当たり約19円程度）

※弊社の配信システムでは半角の「&」と、アポストロフィ「`」が使用できません。とくにURLにこれらが含まれている場合は短縮URLサービス等で変更する必要がありますのでご注意ください。

■掲載例 新聞、メルマガ

○記事広告例：損保版2022年10月17日号保険代理店向けDM発注サービス掲載面

新日本保険新聞 2022年(令和4年)10月17日(月曜日) (昭和29年9月22日) (第3種郵便物認可)

〈ダイレクトメールハガキイメージ〉

保険代理店向けDM発注サービスを開始

富士フィルムシステムサービス株式会社
代理店の顧客接点強化を支援

富士フィルムシステムサービス株式会社は、保険代理店向けのダイレクトメール発注サービスを開始した。代理店に代わってハガキサービスのDM作成から発送までの作業も、人材面や資金面も店頭のDM作成が難しい代理店の顧客接点強化を支援開発にあたり、営業部長の徳永 水戸佑三氏と、編集長 福原成氏に聞いた。

多様な情報をライオンアツプ
——代理店向けのDM提供のため定期的にDMを作成するのは、水戸、きつかけは、保険代理店の方、お喜ばしく思います。印刷なども美観のあるものが代店に代わってDMの作成から発送までができれば、代理店側の負担を軽減し、顧客接点強化を支援するサービスを開始しました。

防災や防犯の喚起にも
——災害や防犯の喚起にも、DMの作成から発送までができれば、代理店側の負担を軽減し、顧客接点強化を支援するサービスを開始しました。

（損保）
第1～4月曜
発行所 新日本
大阪府西区船場本町
郵便番号 550-0004
電話 06-6225-0550

○一般広告新聞掲載例（3段分）：損保版2022年10月10日号外4面

お客様の
お喜様毎に
印字内容が
変えられ!

パラフィンプリンティングサービス

貴社のパンフレットやDMを、より効果的に変えてみませんか!

① パラフィン印刷 (複製機で印刷する)

② BtoB C 営業・販促内販の印刷・DMバックオフィス

③ 大判印刷

④ メーリングパック

廣済堂グループ
https://www.kosaido.co.jp

○メルマガヘッダ6行広告例：12月2日配信メルマガ〔別紙参照〕

単独（号外）PR 広告例：4月20日配信号（日本ライフマイスター協会）〔別紙参照〕

(株)新日本保険新聞社
https://www.shinnihon-ins.co.jp/

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-5-15-6F
TEL 06-6225-0550, FAX 06-6225-0551

〔別紙〕

●ヘッダ 6 行広告例 :12 月 2 日配信メルマガ

-広告-

▼助成金・補助金 自動診断システム「JH サポート」のご案内▼

法人開拓ツールの決定版！ 約 5,000 種類ある助成金・補助金の中から
利用可能なものを、たった 1 分で自動診断！ 業界最高水準のシステム
を業界最安の利用料で導入できます。導入ご希望の場合は弊社迄ご連絡
ください。

セブンスターズコンサルティング(株)ヘルスケア&ITソリューション事業部
<https://sevenstars-consulting.com>

●単独(号外)PR広告例 :4 月 20 日配信号(日本ライフマイスター協会)

☆☆☆

一般社団法人日本ライフマイスター協会リリース

公的支出適正診断システム「賢約サポート」のご案内☆☆☆

ご承知のように公的制度とは、健康保険や介護保険など、
国や自治体の制度のことをいいます。

一般消費者にとっては大事な存在であるにもかかわらず、
内容が複雑であるため知識不足な点は否めません。

各種公的制度をワンストップで役所が教えてくれれば

よいのですが、日本の行政は縦割りの傾向が強く、

横串で利用者に分かりやすく教えてくれる所が少ないのが実情です。

こうした状況を問題視し、一般消費者に各種公的制度を
わかりやすく説明できるような、いわば公的制度の専門家の
輩出・育成に取り組むのが日本ライフマイスター協会です。

日本ライフマイスター協会ではこのほど、税金・保険料・医療費・介護費などの公的支出額が適正かどうかなどを一元的に診断する仕組みを開発しました。

民間保険制度と公的制度は車の両輪といえます。

保険募集のプロとして、公的支出診断を自身の高付加価値にすることで、他との差異化が図れるのではないのでしょうか。

以下、日本ライフマイスター協会より

日本ライフマイスター協会の藪内祐子さんは元公務員で、税金、年金、健康保険、介護保険の窓口をそれぞれ経験した、珍しい経歴の持ち主です。

まさに、公的制度の唯一のプロと言えます。

そんな、藪内さんに誰もが公的制度について相談できるシステムがあります。それが賢約サポートシステムです。

介護費用など、生活にお困りの方から賢約サポートシステムを使って、情報をお聞きする。

その情報を藪内さんが診断して、公的制度を活用した最適な公的支出の削減方法をシステム上で回答する。

公的支出のプロになることが公的制度のプロになる第一歩です。

このシステムを導入すれば、公的支出のプロになれます。

これからの時代に必要な、お客さまに喜ばれるシステムです。

藪内さんと賢約サポートシステムについて、

詳しくはこちらをご確認ください。

<https://life-meister.or.jp/bsnh/>

.....
なお、このメールは、当社の保険セールスパーソン向けメルマガ配信システム【顧客フォロー.com】から配信しています。